

アイポス通信

2024年
新年号

～気軽に読めて役に立つマネー情報をお届けします！～

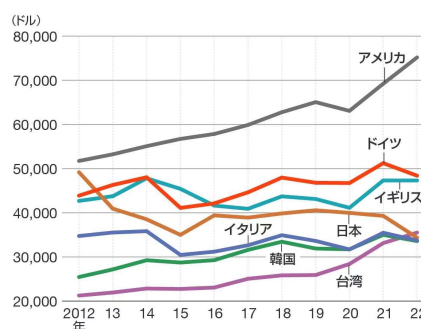
特集 元・世界第二位 GDP 日本の今…

1968 年以来アメリカに次ぐ世界第二位を誇っていた日本の GDP（国内総生産）が中国に抜かれたのは 2010 年のこと。抜かれたとはいえ、人口規模では中国は日本の 10 倍あるため、一人当たり GDP は中国の 10 倍とまだまだトップランナーの状況でした。昨年からは随分と寂しさも感じる報道が目立ち始めています。IMF が公表した見通しによると、23 年の日本の名目 GDP は 634 兆円、一方ドイツは 663 兆円と円安もあいまって日本はドイツに逆転される見通しとなっています。ドイツの人口は 8400 万人と日本の 3 分の 2 ですから、一人当たりでいうと、1.5 倍の差がついていることとなります。とはいえ、ドイツが順調に成長しているかという、インフレも相まって、欧州ではドイツだけが 2023 年マイナス成長を見込まれています。実態としてはドイツ以上に日本が下がったからと言えそうです。一方、内閣府が発表した 2022 年の一人当たりの名目 GDP は 448 万円（3.4 万ドル）と OECD 加盟 38 か国中 21 位（お隣韓国が 22 位）、日本はイタリアに抜かれ先進 7 개국（G7）で最下位となりました。日本の 21 位は 1980 年以降で最も低い順位となっています。22 年時点で日本の世界全体の GDP に占める割合は 4.2%

2005 年の時点では 10.1% ありましたから、半分以上シェアを落としていることとなります。豊かになる方法は、①働いて稼ぐ ②価値あるものに投資する。この二択になりますが、トマピケティのベストセラー「21 世紀の資本論」では①より②がより富を生むことが示されています（有名な $r > g$ ）。今年から新 NISA が始まっていますが、さてどうするか？ヒントが隠されているのかもしれないですね。

（右表 東洋経済オンラインより）

図表1 主要国の1人当たりGDPの推移



? マネークイズのコーナー

2023 年は世界的に株高となった 1 年でした（こんなにいい年ばかりが続くはずありませんが、、、）世界の株式の時価総額は 23 年 11 月時点で、106 兆ドルありますが、そのうちアメリカは何パーセントを占めるでしょう？

- ① 25%
- ② 47%
- ③ 72%



今月のお知らせ

今年は能登半島にて早々に大地震が起こってしまいました。阪神淡路大震災が起きたのも 1 月です。災害時の備えとしてローリングストック法というのがあります。水、アルファ米、レトルト食品などを多めに買って置き、消費期限の近いものから徐々に消費していったその分を買い足すというもので、我が家では 2 年程前から始めています。収納スペースが必要になるという欠点はあるのですが、いざという時に備えられている状態に心の余裕も持つことができますね。

コラム 30年ぶり！郵便料金が大幅値上げ



昨年暮れ12月18日総務省は郵便料金引き上げの案を公表しました。案によると、定形郵便の封書については84円から110円に、また50グラム以下の封書も94円から110円に、ハガキについては63円から85円への値上げをするとされています。消費税の増税を除いての値上げは実に30年ぶりのことになり、早ければ本年6月にも改正省令を施行して、10月から値上げが実施される見通しです。値上げの背景にあるのは、郵便物の減少です。郵便物は過去20年で45%ほど減り、28年度にはピークの01年度の半分以下まで減ることが予想されています。メールやSNSなどの普及により郵便の需要が落ち込み、ここ最近の燃料や人件費の上昇が追い打ちをかけています。郵便事業のみの収支は23年3月期には211億円の赤字、07年の郵政民営化後、初めての赤字へと落ち込んでいます。お正月の風物詩、年賀状も年々減少しています。日本郵便は1月1日、同日に全国で配達した年賀郵便物数の速報値を7億4300万通（前年比15.8%減）と発表しました。値上げの報道後に、販売好調なツールの一つがあるとあるスタンプ「本年を持ちまして年賀状でのご挨拶を失礼させて頂くことになりました」という刻印がされたものです。値上げとともに、おっくうになっていた年賀状の取りやめに踏ん切りがついたというわけです。時代背景を感じさせる出来事ですが、消費税以外に30年間も値上げがなかったという事実は、1985年のプラザ合意により、無理矢理に（！？）円高に修正されて、後のバブル崩壊を招いた「失われた30年」と重なります。ようやく成長路線のスタート地点に立てた！と思えば、実は嬉しい出来事なのかもしれません。アイポス通信も値上げに負けず引き続きと思います。応援宜しくお願いします。（右表、日経新聞より）

日本郵便が現時点で想定する値上げと引き上げ幅			
定形封書 (25グラム以下)	84円	→	110円 (31%)
定形封書 (50グラム以下)	94円	→	110円 (17%)
はがき	63円	→	85円 (35%)

A マネークイズの答え

答えは②です。米国が47.8% 約50兆ドルを占めています。日本は6.0兆ドルで5.6%と中国に次ぐ第3位です。

ちなみにiPhoneで有名なアップル社は1社だけで2.8兆ドル、マイクロソフト社は2.7兆ドルもの株式時価総額を誇り、この2社の合計だけで日本の株式時価総額に匹敵する金額となっています。

…ちょっと意味が分かりません（涙

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年はアメリカの大統領選挙があり、揺れ動きがありそうです。身構えてしまう気持ちにもなりますが、できない、無理ではなく、どうやったらできるかを考えて過ごしていきたいと思います。そう思ったのは、二か月我が家に滞在しているフランス人高校生のお陰。年始に、淡路島に旅行に行ったのですが、ロープに括り付けたバケツ一つで釣りをするといい出して、「絶対無理！」と大人は思っていたのですが、見事一匹ゲット！
為せば成る！そんな一年にしていきます。



発行

一級ファイナンシャルプランニング技能士

CFP 宅地建物取引士 相続コンサルタント 森拓哉

大阪府茨木市園田町6-1 フィールドア2階 (株)アイポス

電話 072-634-3331 メール info@i-pos-co.jp

